



第54回 JBCF 経済産業大臣旗ロードチャンピオンシップ[®]

TECHNICAL GUIDE BOOK



大会実施概要

OUTLINE OF THE EVENT

Ver-20.10.7 赤字訂正

- ◆開催日 2020年10月10日(土) -10月11日(日)
- ◆開催地 群馬サイクルスポーツセンター 6kmサーキットコース
- ◆主催 JBCF (一般社団法人 全日本実業団自転車競技連盟)
- ◆主管 JBCF (一般社団法人 全日本実業団自転車競技連盟)
- ◆後援(予定) 経済産業省 / (一財) 日本自転車普及大会 / (一財) 自転車産業振興協会
- ◆ツアー協賛 (株)シマノ / シマノセールス(株) / (株)あさひ / 江崎グリコ(株) / パナソニックサイクルテック(株)



競輪の補助事業

1.スケジュール

内 容			開始-終了予定時刻	場所 / 備考
10月10日 (土)				
開門			6:30	
試走			8:00 - 8:50	コースインは 8:40 まで
選手ライセンスコントロール (E1、E2、F)			7:30 - 10:00	JBCF本部 ※E2,Fは8:30まで
マネージャーミーティング (E1、E2、F)			8:00 - 8:15	管理棟
メディアミーティング			8:20 - 8:25	監視棟
役員ミーティング			8:30 - 8:40	監視棟
E2 (6km x 15周 = 90km)	※定員176名		9:10 - 11:40	6kmコース
F (6km x 15周 = 90km)	※定員176名		9:12 - 11:55	6kmコース
試走			11:55 - 12:30	コースインは 12:20 まで
マネージャーミーティング (E1)			12:00 - 12:15	管理棟
E1 (6km x 20周 = 120km)	※定員176名		12:45 - 15:55	6kmコース
ライセンスコントロール (P1、Y、E3)			15:00 - 16:30	JBCF本部
マネージャーミーティング (P1)			16:15 - 16:30	管理棟
表彰式			大会特別規則第16条に記載	
10月11日 (日)				
開門			7:00	
試走 (全クラス)			7:30 - 8:30	コースインは 8:20 まで
役員ミーティング			7:30 - 7:45	監視棟
マネージャーミーティング (Y、E3)			8:00 - 8:15	管理棟
メディアミーティング			8:20 - 8:25	監視棟
スタートセレモニー			8:40 - 8:50	S/F
P1 (6km x 30周 = 180km)	18チーム×8名 = 144名		8:50 - 13:20	6kmコース
ライセンスコントロール (Y、E3)			11:00 - 12:00	JBCF本部
試走 ※P1レース終了次第オープン			13:20 - 13:45	コースインは 13:35 まで
マネージャーミーティング (Y、E3)			13:20 - 13:35	管理棟
Y (6km x 12周 = 72km)	※定員176名		14:00 - 15:55	6kmコース
E3 (6km x 12周 = 72km)	※定員176名		14:03 - 16:00	6kmコース
表彰式			大会特別規則第16条に記載	

2. 競技内容

クラス	レース格付	中間スプリントポイント(※)
P	プラチナ	3,9,18周回
E1	A	3,6,12周回
E2	B	3,6,9周回
E3	C	3,6周回
F	A	3,6,9周回
Y	A	3,6周回

※対象周回完了時、Finishラインの1位通過者に各々「優勝ポイントの10%」を付与します。(完走者のみ)
 ※運営規程および上記のレース格付に基づき、ポイントを付与します。なお中間スプリントポイントも年間ポイントに加算されます。

3. 競技規則

日本自転車競技連盟の競技規則集、『JBCF2020 運営規程JPT、JET/JFT/JYT』の最新版、大会と区別規則により運営いたします。

『JCF競技規則集』

<https://jcf.or.jp/road/rule/>

『JBCF2020 運営規程JPT、JET/JFT/JYT』

<https://www.jbcf.or.jp/membership/guide/>

- (1) ボディゼッケンは腰の位置に縦に2枚、背骨を挟んで左右に5cm離して装着してください。
- (2) ボディゼッケンを緊急の際に使用するので『JPT運営規定2020 第6節(救護)』またはJET/JFT/JYT運営規定第6節(救護)』を参照ください。
- (3) ジュニア、ユースの選手のギア比規制は、JCFの競技規則(以下参照)に準じます。
 ジュニア 7.93m、U17(16,15歳)7.01m、U15(14,13歳)6.10m、U13(12歳以下)5.66m
- (4) 重量を調整する目的の付加物は認めません。

4. その他参加にあたっての注意事項

- (1) レーススタート時間、表彰式開始時間は、変更の可能性があるので注意してください。
- (2) 会場周辺の道路を走行される場合は道路交通法を厳守し、モラルを持ち、マナーを守って行動してください。
- (3) スケジュール及び競技内容は変更する場合があります。
- (4) フレームプレートと計測タグを持ち帰ってしまった場合は早急に事業部 (race@jbcf.or.jp) までメールしてください。
- (5) 予測できない事故や天候の変化により競技運営が不可能とレースディレクターが判断した場合、大会を中止または内容を変更することがあります。この場合参加料は返金いたしません。

【JBCF事業部 携帯：090-6721-9874】

※緊急の際におかけください。大会会場でのみの使用となります。

5.コミッセール

レースディレクター : 力石 達也
チーフコミッセール : 芦澤 拓郎
コミッセールパネル : 芦澤 拓郎、櫻澤 幸雄、愛場 政広、平 武、中安 基之

6-1.会場（詳細一覧）

【開催地】 群馬サイクルスポーツセンター
〒379-1411 群馬県利根郡みなかみ町新巻3853
TEL: 0278-64-1811

サイクルスポーツセンターへの交通案内

*お車で

【関越自動車道 月夜野I.Cから約25分】

【関越自動車道 水上I.Cから約20分】

*電車で

【上越新幹線】

上毛高原駅下車、タクシー利用約10分

【競技本部】 OFFICIAL ZONE S/F付近 競技本部テント（参照：P5 MAP①）

【ライセンスコントロール】 OFFICIAL ZONE 管理棟前JBCFテント（参照：P5 MAP①）

※連日出場される方は、一度のライセンスコントロールのみで結構です。

※カテゴリーが変わる場合（マスターズやユースなど）は、
カテゴリー毎に必ずライセンスコントロールを行ってください。

【バイクチェック】 OFFICIAL ZONE 管理棟前JBCFテント

※サイン省略に代わり、バイクチェックでの本人確認が必須となります。

※行わない場合、失格となりますので、注意してください。

【マネージャーミーティング】

OFFICIAL ZONE 管理棟2階会議室（参照：P5 MAP①）

※ミーティング骨子を、10/2（金）中に当連盟HPにて発表いたします。必ずご一読ください。

【役員打合せ】 OFFICIAL ZONE 監視塔 1階（参照：P5 MAP①）

【JPT優先駐車場】 TEAM PIT ZONE（参照：P6 MAP②）

※後日各チーム代表者宛に「車両証」と動線についてのご案内をメールにて差し上げます。

サイクルスポーツセンター入口で「車両証」を確認いたしますので、フロントガラスに掲示をお願いいたします。

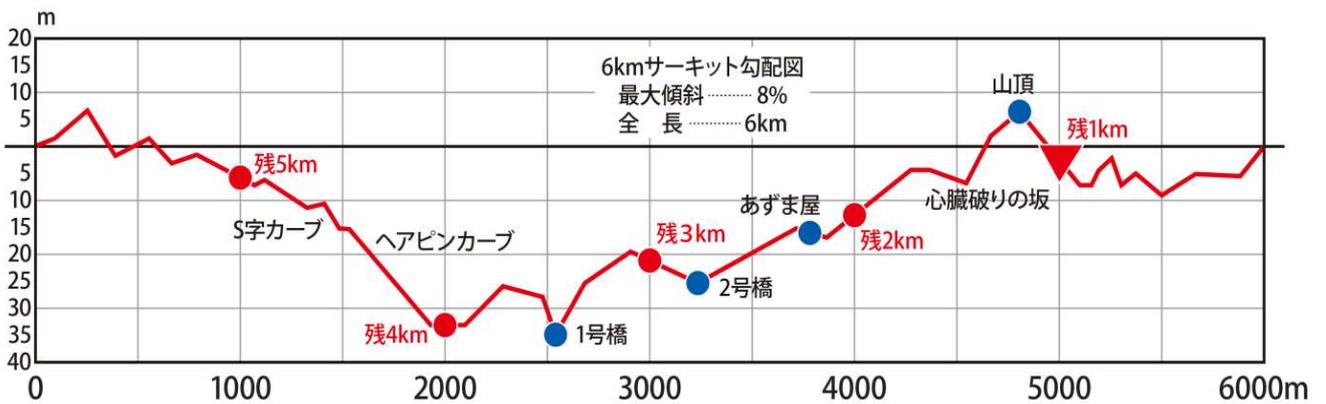
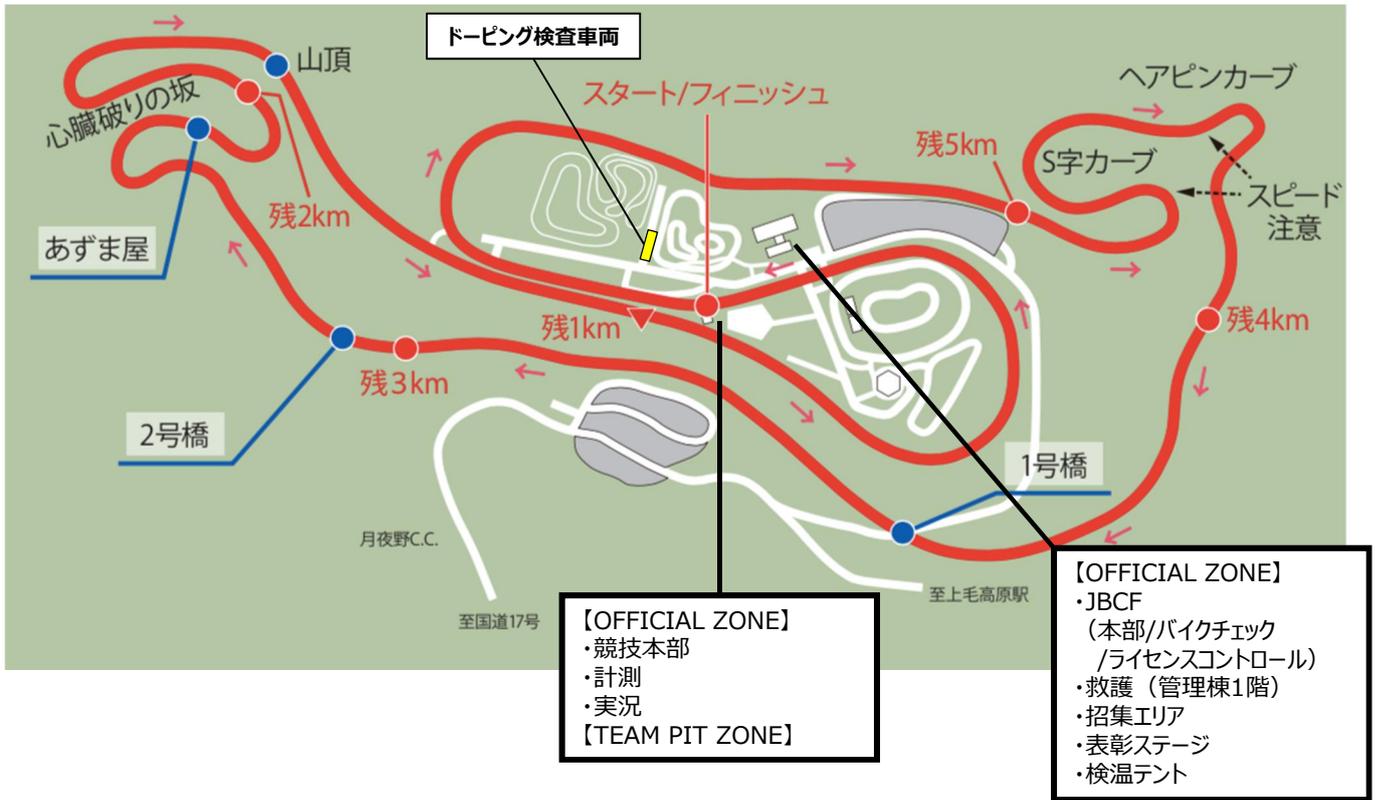
【選手駐車場】 群馬サイクルスポーツセンター内駐車場

※後日各チーム代表者宛に「車両証」をメールにて差し上げます。

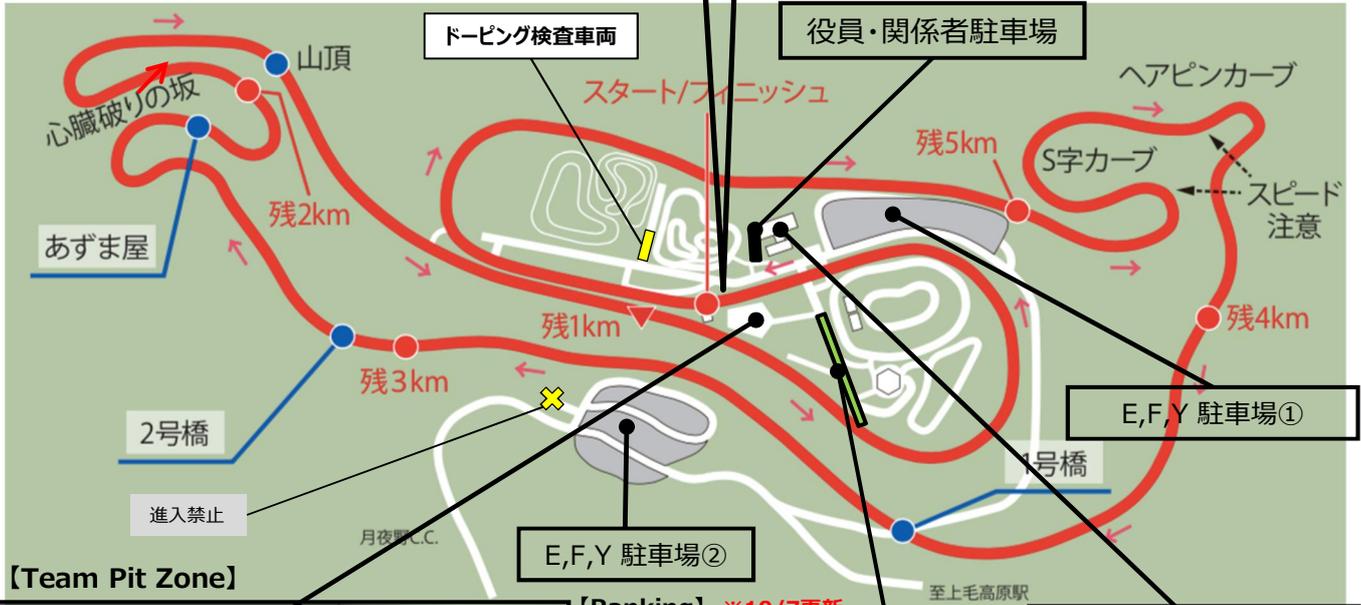
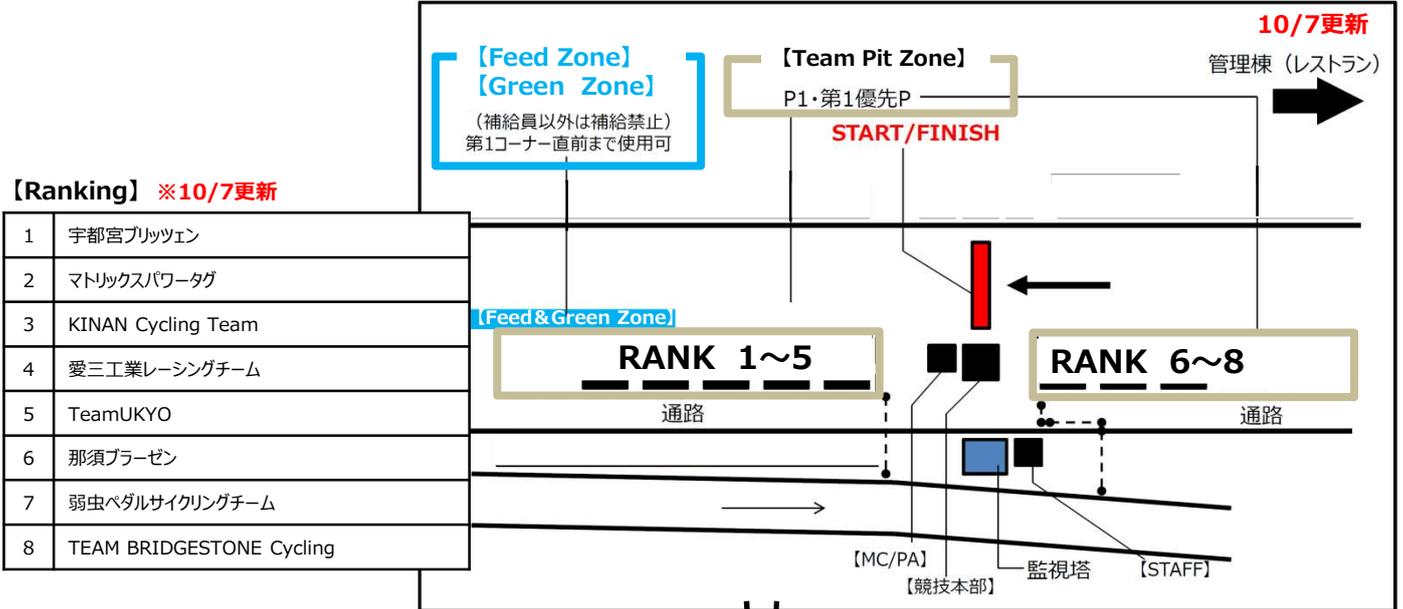
サイクルスポーツセンター入口で「車両証」を確認いたしますので、フロントガラスに掲示をお願いいたします。

10/10-11 (土/日)	第54回 JBCF 経済産業大臣旗ロードチャンピオンシップ	
	MAP①	コースマップ

10/7更新



10/10-11 (土/日)	第54回 JBCF 経済産業大臣旗ロードチャンピオンシップ	
	MAP②	会場レイアウト・S/F付近



【Team Pit Zone】

第2優先P

9	10
11	12
13	14
15	16
17	18

【Ranking】 ※10/7更新

9	Hincapie LEOMO Bellmare Racing Team
10	eNShare Racing Team
11	レバンテフジ静岡
12	さいたまディレーブ
13	稲城FIETSクラスアウト
14	VICTOIRE広島
15	イナメ信濃山形
16	群馬グリフィンレーシングチーム
17	シマルレーシング
18	VC福岡

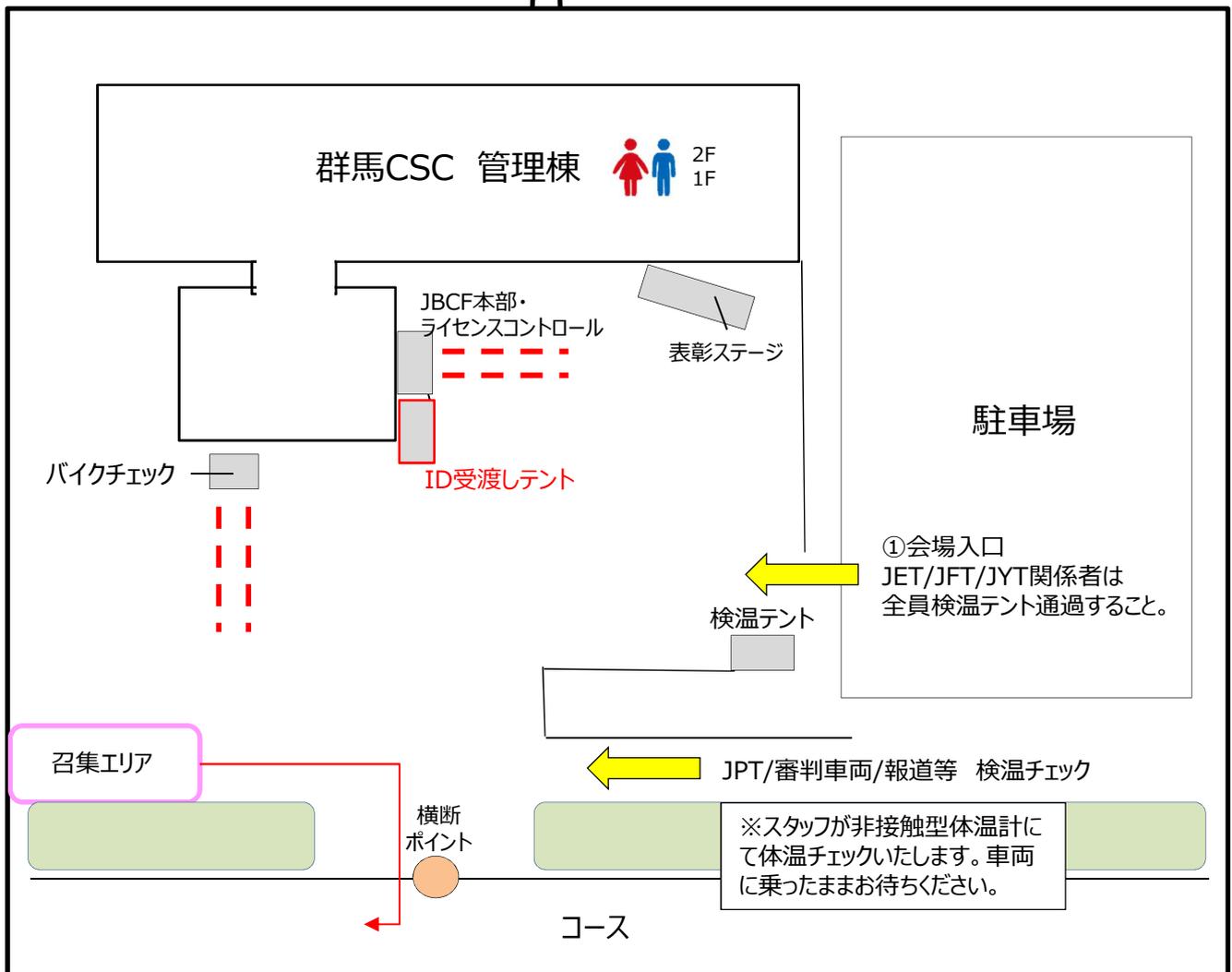
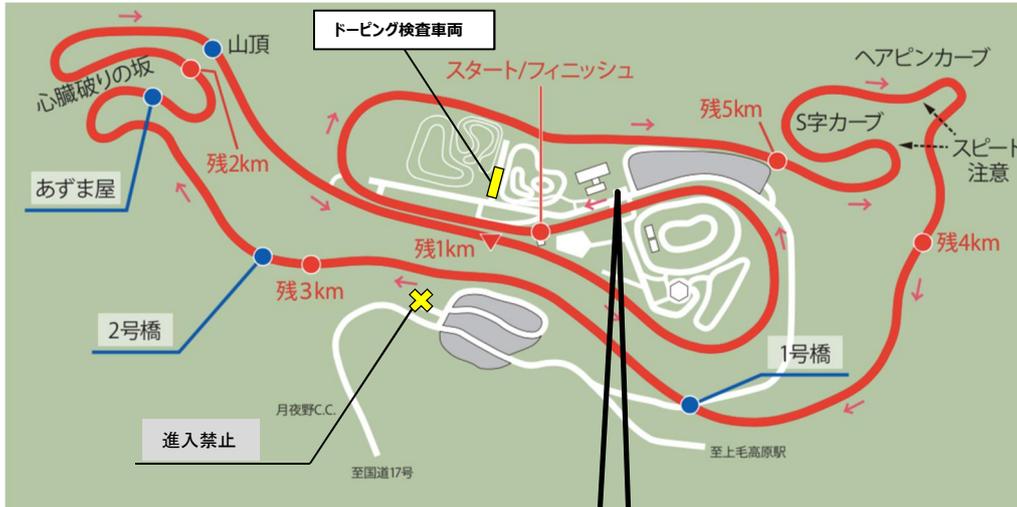
【OFFICIAL ZONE】

- ・JBCFテント (本部/バイクチェック/ライセンスコントロール)
- ・救護 (管理棟1階)
- ・招集エリア
- ・表彰ステージ
- ・検温テント

メディア・報道等関係者駐車場

10/10-11 (土/日)	第54回 JBCF 経済産業大臣旗ロードチャンピオンシップ	
	MAP③	会場レイアウト/管理棟エリア

10/7更新



第54回 JBCF 経済産業大臣旗ロードチャンピオンシップ 特別規則

Part1 General Aspects / 第1部 総務事項

A. 第54回 JBCF 経済産業大臣旗ロードチャンピオンシップ

第54回 JBCF 経済産業大臣旗ロードチャンピオンシップは、自転車を愛好する若人が、それぞれの分野において日頃鍛錬を重ねた技術と能力を競い合い、体力の向上および健全な精神の滋養をはかり、自転車競技を通じて地域社会との交流に寄与することを目的とする。

B. 各チームのための車両

チームカーの運用は行わない。

C. 救急措置

月夜野病院	群馬県利根郡みなかみ町真庭316	0278-62-2011
利根中央病院	群馬県沼田市沼須町910-1	0278-22-4321
沼田脳神経外科循環器科病院	群馬県沼田市栄町8	0278-22-5052

※状況により別の病院へ搬送される場合もあります。会場の救護所では応急処置のみとなります。

※救護所に入室するチームスタッフ数を制限する必要があるため、救護スタッフの指示に従うこと。

Part2 Technical Aspects / 第2部 競技事項

ARTICLE 1. / 第1条 主催者

この第54回 JBCF 経済産業大臣旗ロードチャンピオンシップは、(公財)日本自転車競技連盟(JCF)及び、(一社)全日本実業団自転車競技連盟(JBCF)の規則の下に、JBCFが主催し、JBCFが競技面を主管して開催される。当大会は、2020年10月10日-11日に行われる。

ARTICLE 2. / 第2条 参加について

この大会は、「JBCFカテゴリ別運営規程」に従い、2020年度JBCF加盟登録を完了し、大会実施要項の申込方法の通りにエントリーした競技者が参加できる。また、JBCFが特別に認めた競技者が参加できる。

ARTICLE 3. / 第3条 JBCFレースランキング

この大会は、「大会実施概要 2.競技内容」に記載のグレードに従い、JBCF 2020 ロードレースポイント表を基にポイントが付与される。また中間スプリントポイントも付与される。(完走者のみ)

なお付与されたポイントは、JBCF年間ランキングに反映される。

ARTICLE 4. / 第4条 大会本部、ライセンスコントロール、マネージャーミーティングについて

大会本部は、P.5「MAP①」の「JBCF本部」とする。

ライセンスコントロールの場所と時間については、P4～P6に記載のスケジュール通りとする。

※マネージャーミーティングについては、内容の骨子を10/2(金)にJBCFのHPまたはSNS等にて発表する。

質疑等あれば、race@jbcf.or.jpあて、10/7(水) 18:00まで、問い合わせすること。

また、同内容は、コミュニケまたはインフォメーションとして、JBCFのHPまたはSNS等で、発表する。

ARTICLE 5. / 第5条 各種情報とコミュニケ

競技結果と各種情報はJBCFのHPに掲載する。 <https://jbcfroad.jp/>

コロナウイルス対策における、密集を避けるため会場では掲載しないので注意すること。

ARTICLE 6. / 第6条 ラジオツアー

ラジオツアーは実施しない。

ARTICLE 7. / 第7条 検車・招集・出発

- (1) 検車：競技者は、各自のスタート15分前までに、P5 MAP①記載の「バイクチェック」にて、検車を受けること。
ギア比チェックは、各自で行う。また、参加クラスタを問わず、ジュニア・ユースカテゴリーに所属する選手は、各レース上位5名までの着順を受けた際は、必ずギア比チェックを実施する。フィニッシュ時の審判等指示に従うこと。
- (2) 招集：競技者は、スタート時刻の10分前までに管理棟前の招集エリアに集合すること。
当レースにおいては、サインを行わない。検車時に、機材とともに選手本人を確認する。
P.5 「MAP①」を参照。
- (3) 出発：スタート時刻10分前から各クラスタのリーダーに続き、通告に従い招集エリアからスタートラインに移動する。

ARTICLE 8. / 第8条 ニュートラルサポート

競技中のニュートラルサポートは、P1、F、E1に関してはMAVICまたはJBCFにて実施される。
E2、E3、Yクラスタへのニュートラルサポートは、行わない。
ディスクブレーキ付ホイールのサポートは「ローターサイズはフロント 160、リア 140」のみとなる。

ARTICLE 9. / 第9条 飲食料の補給

補給周回は、原則7周回完了後（スタートから42km）より残り3周回に入るまで（フィニッシュまで残り18km）の間において、全クラスタで認める。
補給はP.6「MAP②」に示す、S/Fライン通過後のFeedZone（フィードゾーン）において、コース進行方向左側からのみ行う。
なお、Wピットではないので、バックストレートでの補給・投棄はペナルティの対象とする。
フィードゾーンに立ち入り可能なチームスタッフは、以下の有効なライセンス（JCFチーム・アテンダント、JCF審判ライセンス、日本スポーツ協会・自転車競技各級コーチまたは各級指導員）保持者であること。
また、JBCF2020JPT運営規程第4節・第38条、JET/JFT/JYT運営規程第4節・第26条により、下記事項を遵守する事。

- ・補給スタッフは、出走人数が4名以下である場合は1名、5名以上の場合は2名までとする。
- ・補給区間内のグリーンゾーンに安全に置く場合のみ、食料、食料袋、ボトル、衣類、ごみ等の投棄を認める。
- ・本条において定められた区間以外での投棄が認められた競技者またはチームはペナルティの対象となる
- ・フィードゾーンに立ち入る際はマスクを着用し、入口に設置されたアルコール消毒液にて手指の消毒を行うこと。

ARTICLE 10. / 第10条 機材の補給

チームからの機材交換は、S/Fライン通過後のFeedZone（フィードゾーン）においてのみ全クラスタで認める。
交換は、道路の左側で行わなければならない。交換の際は、他選手との安全に配慮すること。
ただし、車輪交換に限り、下り坂及びS/F前後（フィニッシュ手前200m～フィニッシュ後約100m）以外のコース左側のみ認める。
また、残り1km前後の下り坂（フィードゾーン逆側）は、例外的に認める。必ず安全に配慮する事。

ARTICLE 11. / 第11条 タイムアウト

先頭より7分程度遅れた競技者、または周回遅れとなる競技者は失格とする。
コース上においても審判により失格を宣言することがある。その際は審判の指示に速やかに従うこと。
優勝者の完走時間より8%以上遅れて完走した者には原則として順位を与えない。

ARTICLE 12. / 第12条 スタート方式について

P1及びFクラスタはマスドスタート、それ以外のクラスタについてはローリングスタートとする。
正式スタートは、コミッセルまたは先導モト・コミッセルの合図で行う。正式スタートをする場所は、隊列が整ったとコミッセルが判断を行った地点（スタートより約3～4km付近）とする。
ローリング中の事故による正式スタートの延期は原則として行わない。
ただし、複数の選手が絡む落車等の事案が起きた場合には、コミッセルにて協議の上続行するかを決定する。

ARTICLE 13. / 第13条 棄権、失格について

失格、または棄権した競技者は、主催者による特別な許可のある場合を除き、競技を続けることも、非公式に追走することもできない。競技中に棄権または失格となった場合、当該選手の把握のためコントロールライン先左側の退避路（フィードゾーン側）からコースアウトすること。

ARTICLE 14. / 第14条 ペナルティ

ペナルティは、JCF競技規則、及び JBCF2020JPT運営規程、JET/JFT/JYT運営規程による。
また、定められた走路以外の通路等を故意に走行した場合は、ペナルティの対象とする。

ARTICLE 15. / 第15条 表彰

この大会においては、最終順位について下記の通り、表彰される。

- (1) P1 1～3位 表彰プレート、副賞 (JBCF規定)
- (2) P1 敢闘賞 副賞 (JBCF規定)
- (3) P1団体 1位 経済産業大臣賞、副賞、メダル (輪翔旗、大臣賞状)
2位～3位 副賞、メダル
- (4) F、Y 1位～3位 賞状、副賞、メダル
- (5) E 1位～3位 賞状、副賞

※ 出走人数が5名以下の場合は、1位のみ表彰とする。

※ 入賞対象者は必ず表彰式に出席し、副賞または賞状と副賞を受け取ること。

※ P1団体については、「3名以上出走したチームの上位3名のポイント合計」で決定する。

ただし、同点の場合は上位3名の着順を合計し、少ない方を上位とする。

以上に加え、JBCF2020JPT運営規程、JET/JFT/JYT運営規程に基づき、各ツアーリーダーが表彰される。

ARTICLE 16. / 第16条 公式式典

表彰対象者は登壇時はチームジャージ着用を義務付ける。(JCF規則第114条第2・3項 参照)

各ツアーの首位の競技者には、それを示すリーダージャージを着用することを義務付ける。

表彰式は、各クラス下記の実施を予定とする。レース進行状況により、開始/終了時刻が変動する可能性があるため、表彰対象選手・チーム等は、会場アナウンスに注意する事。

なお、新型コロナウイルス感染症対策の観点からステージ上での授受は行わず、対象者の登壇および写真撮影のみとする。

10/10 (土)	
E2	11:55 - 12:05
F	12:10 - 12:20
E1	16:10 - 16:20

10/11 (日)	
P1	13:35 - 13:50
Y	16:10 - 16:20
E3	16:20 - 16:30

ARTICLE 17. / 第17条 アンチドーピング検査

日本アンチ・ドーピング規定及び日本自転車競技連盟アンチ・ドーピング規定に準じる。

ARTICLE 18. / 第18条 大会当日の検温について

来場する選手・チームスタッフおよび大会関係者は、管理棟付近に設置された検温ブースにて必ず自身の体温を確認すること。

検温ブースの場所はP.7「MAP③」を参照。

当日の体温が37度5分を超える場合は、レースへの参加及び会場へ入場することができない。

感染症対策の観点より予め承諾のこと。

また、検温前に運動した場合は、正確な体温を測ることができないため時間を空けてから検温ブースに来ること。

ARTICLE 19. / 第19条 レース帯同人数について

1チームあたりのレース帯同人数は下記の通りとし、ID受渡しシートにてパスを配布する。
会場内では必ずパスを携帯すること。

- ・JPTチーム 5名まで
- ・JET/JFTチーム 4名まで

※全チームにおいて、未成年選手がエントリーしている場合は、上記人数に加え保護者1名帯同可能。
加えて、最低1名は有効なアテンダントライセンス保持者の帯同を義務付ける。

ARTICLE 20. / 第20条 レース中断・キャンセルについて

・コロナウイルスの影響

日本政府または自治体指示、主催者関連団体における指示または指針が、公表された場合は、内容を鑑みた上で、主催者判断により、大会またはレースを中断・キャンセルする場合がある。

・急激な天候（雷雨等）の変化による中断、中止判断

参加者の安全を考慮し、雷鳴が確認された段階で中断を検討する。再スタート、キャンセル、レース成立の判断は、コミッセルの指示に従うこと。

ARTICLE 21. / 第21条 無線機の使用について

今大会において、P1クラスに限り、下記事項を遵守の上、無線機の使用を許可する。

・無線通信その他の遠隔通信の競技者による使用または競技者に対する使用を認める。

国内の定格に則る方式であることが前提であり、安全な通信および情報システム（イアフォン）は許可される。

また、下記条件の下に運用を行う。

- ・無線機の出力が5ワットを超えないこと。
- ・通信の目的範囲は競技により占有される空間に限られること。
- ・その使用は、競技者と監督および同チームの競技者間のやり取りに限られること。
- ・選手がスマートフォン等を所持しての出走は認めない。